

# 炎症を通してつながる歯周病と糖尿病 ～口腔感染制御が医科と歯科を結ぶ～

にしだわたる糖尿病内科 院長 西田 亙



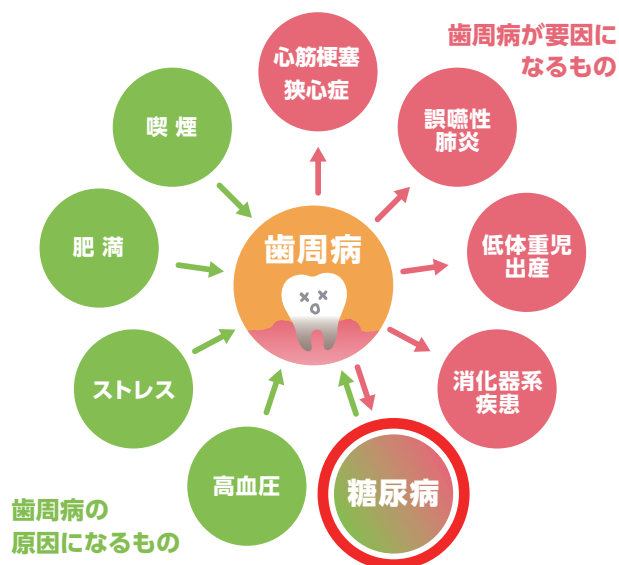
## 一人の患者さんを医科と歯科が支え合う

歯周病は、口の中の細菌によって歯ぐきに炎症が起こり、歯を支える骨が壊されていく病気ですが、口の中だけの病気ではありません。

歯周病は、様々な全身疾患と関係性があることが知られており、生活習慣病の一つとして位置づけられています。特に、歯周病と糖尿病は密接な相互関係があることから、歯周病は糖尿病の第6の合併症と捉えられています。

歯周病の予防や治療は、口全体の「健口」維持と身体全体の「健康」維持に繋げるためにとても大切なことです。

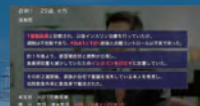
本コンテンツでは、一人の患者さんを医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、検査技師、栄養士などの様々な分野のプロフェッショナルが、口と全身を通じて支え合うことの重要性を解説していきます。



## Movie index



① 医科と歯科の連携 (4分39秒)



② 口腔感染症の恐ろしさを痛感させられた糖尿病の2症例 (8分37秒)



③ 炎症で繋がる糖尿病と歯周病 (8分10秒)



④ 歯周病の恐ろしさを知ったキッカケ (9分31秒)



⑤ 私が歯周病を熱く語るワケ (4分36秒)



⑥ 医科から歯科へのエール (12分10秒)



⑦ 健やかなお口から、より健やかに  
より幸せに (3分53秒)



ぜひ視聴いただき先生の日常診療にお役立てください。  
[http://showayakuhinkako.co.jp/medical/mov/dr\\_nishida/](http://showayakuhinkako.co.jp/medical/mov/dr_nishida/)